

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	札幌市立八軒西小学校 第3学年 40名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(社会) ② 行事名() ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4 目標 (ねらい)	- 札幌オリンピックミュージアムでの展示物等の見学や冬季スポーツコーナーでの体験、また、オリンピックからの講話を聴くことで、札幌オリンピックに関する歴史や先人の思いを学ぶ。 - 札幌オリンピックを調べる活動を通して、人々の生活の変化や人々の思いを考える。
5 取組内容	○指導計画【3時間扱い】 - 事前に札幌オリンピックについての調べ学習を行い、開催時の人々の生活や競技等への関心を高める。(1/3) - 札幌オリンピックミュージアムの見学を行う。(2/3) - 札幌オリンピックについて調べ学習を通して学んだことをまとめるとともに、当時の札幌市の様子や人々の思いを考える機会とする。(3/3) ○取組の様子 - オリンピックの方の講話を聞く。内容は、講師の小・中学校時代の運動経験の話から、できないことや苦手なことに対して、チャレンジすることの大切さについて学ぶ。 - 館内の展示品を見学しながら、冬季オリンピックの歴史等について、説明を聞く。



	- 冬季スポーツ体験コーナーでは、スキージャンプ、ノルディックスキー、スケート、ボブスレー等の体験をする。   - リフトに乗り、大倉山ジャンプ競技場の頂上から札幌市内を見学する。  
6 主な成果	- オリンピックと触れ合う機会は、大変貴重な時間となった。オリンピックの方が、小中学校時代に走ることが苦手だったことを例にして、チャレンジすることの大切さを話ししてくれた。子どもは、興味をもって講話に参加できた。 - 展示品についての説明では、オリンピックの歴史等について理解することができた。 - 冬季スポーツ体験コーナーでは、バーチャル体験ができるコーナーが多く、子どもは、時間の過ぎるのも忘れて、興味をもっていろいろな冬季スポーツの疑似体験を楽しんだ。 - 大倉山ジャンプ競技場の頂上から札幌市の街並みを見学したことは、子どもにとって大変貴重な体験となった。
7 実践において工夫した点	興味をもって講話を聞くことができるように、オリンピックの方の名前や競技等について、事前に子どもに紹介した。
8 主な課題等	展示物は、充実しており学習する環境として整っていることはよい。課題としては、展示している情報が多いので、3年生を対象にしたとき、見るポイントを明確にして、見学させることが重要だと感じた。
9 今後の取組について	札幌オリンピックミュージアム見学は、社会科「第3単元 かわってきた人々の暮らし」の『小単元2 のこしたいもの、つたえたいもの』8時間扱いのうちの3時間を使い、実施した。今後の取組は、札幌オリンピックミュージアム見学や調査活動の結果から、まちの行事がどのように受け継がれているかについて考えていく。